

2024年7月2日

月島JFEアクアソリューション株式会社

妙高グリーンエナジー株式会社 内閣府「第1回 PPP/PFI 優良事例表彰」
優秀賞受賞に関するお知らせ

妙高市（市長：城戸陽二）と妙高グリーンエナジー株式会社（社長：赤澤修一、本社：新潟県妙高市、以下、「妙高グリーンエナジー」）は、このたび「妙高市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括的民間委託」の官民連携事業が評価され、内閣府の第1回 PPP/PFI 優良事例表彰において、優秀賞を受賞しました。

本事業は、上下水道事業における官民連携事業の先導的な事例としてアセットマネジメント支援を含むなど委託範囲が広範であり、上下水道分野においても広く注目されている事業です。月島JFEアクアソリューション株式会社（以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太）は、妙高グリーンエナジーより上下水道事業包括委託業務を受託しており、TJASグループのPPP事業の経験を生かした質の高い公共サービスの提供や効果的かつ効率的な運営ノウハウを提供することで、当事業の一翼を担っています。

TJASグループは、これまでの官民連携、PPP事業の豊富な実績と、運転管理から更新工事まで一貫した総合エンジニアリング力、ICT/DXを活用した維持管理技術を生かして、今後も妙高グリーンエナジーと連携して本事業に最適なソリューションを提供し貢献してまいります。



事業スキーム

妙高グリーンエナジーの概要、受賞にあたって評価された点

妙高グリーンエナジーは、妙高市の「ガス事業の譲渡による民営化と上下水道の維持管理・修繕等業務の包括的民間委託を同一会社にて実施する、分野横断・複数施設型の官民連携事業」を担うことを目的に2021年8月に設立され、日本で初めてガス上下水道の3事業を一体的に担う複合ユーティリティ企業として、2022年4月1日から運営を開始しました。

このたびの受賞にあたり、主な評価点は以下のとおりです。

- ・上下水道事業では、10年間の長期契約、性能発注、施設の維持管理・修繕等の業務を対象としており、ウォーターPPP レベル3.5*を目指して、包括委託の業務内容に施設の更新工事等を盛り込む予定であること
- ・ガス本管と水道本管を同じ堀山に同時に埋設して設計・工事の効率化を図るとともに、工事期間中の交通規制など影響を最小限に抑えられること
- ・2024年元日の能登半島地震によって最大震度5強を記録したが、ガス上下水道事業における供給停止はなく運営を継続したこと
- ・先導的な事例として、下水道事業のガイドラインや学協会・新聞記事に掲載され広く周知されていること

*1 「ウォーターPPP」は水道、工業用水道、下水道などの水分野の公共施設を対象とした官民連携で、コンセッション方式へ段階的に移行するための「管理・更新一体マネジメント方式」はレベル3.5、「コンセッション方式」はレベル4となっている。

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報室

TEL 03-5560-6503

以 上